



第 2820 地区

# HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

【例 会 場】 要害クラブ TEL(0294)36-2020  
 【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00  
 【事 務 所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室  
 TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176  
 Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin  
週報 No.39

■会 長 川 崎 健 輔                    ■副 会 長 石 川 悟  
 ■幹 事 千 葉 省 三                    ■会 報 委 員 高 島 章 行

本日の例会：平成 27 年 5 月 26 日（火）      【プログラム】クラブフォーラム / 次年度計画

次回例会：平成 27 年 6 月 2 日（火）      【プログラム】卓話 / 親睦活動委員会

## 例会報告

5月19日（火）12:00 開会  
高島会員

### 幹事報告

千葉幹事



- 本日、会長がタクシーの組合に出席の為、例会は欠席です。
- 昨日の会長幹事会の中で一番内容が濃かったのは、ローターアクトの件です。7クラブ中、2クラブが賛成となりました。あとの5クラブは検討中です。問題は、分担金です。1クラブ5万円を超えた場合、その時点で脱会するという話を持ち帰り、来月19日の会長幹事会で決めることになりました。今年度で決定したいと思います。
- 本日のプログラムは、石川悟会員の奥様の卓話です。宜しくお願い致します。

### 出席報告

小澤会員

| 会員数 | 出席  | 欠席  | 出席率    | MakeUp | 修正   | 免除 |
|-----|-----|-----|--------|--------|------|----|
| 29名 | 18名 | 11名 | 69.23% | 6名     | 100% | 5名 |

### ニコニコ BOX

小倉委員長

- ◇ 石川都様、卓話宜しくお願ひいたします。  
千葉幹事・高島章行・星 勝治・木本貴一・小倉正美・宮本尚彦・鹿志村高道・鈴木幸一・石川國博・池澤 健・弓野博司・信太克己・佐藤信彦・木内友則・小澤 興・川村昌弘
- ◇ 職業奉仕でやらせていただきます。  
石川 悟
- ◇ 5/15~5/18 タイのバンコクに行ってきました。3350地区のガバナーにチャイワイさんの就任のお祝。  
山本忠安
- ◇ 地区大会駐車場等残金  
千葉幹事

😊 本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました 😊

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 本日計 41,400 円 | 累計額 1,332,480 円 |
|--------------|-----------------|



## プログラム

### 卓話

職業奉仕委員会

石川委員長



- 今日の職業奉仕の卓話ですが、半年前から別な方をお願いしていたのですが、ドタキャンとなってしまい、私の妻にお願ひしました。
- 石川都と言います。筑波大学の大学院にいる頃に知り合いました。日立総合病院の看護学校や、茨城キリスト教大学の非常勤で17年、「生と死」について授業をしておりました。
- 職業奉仕に合致するかわかりませんが、ご静聴いただけると幸いです。宜しくお願ひ致します。

石川クリニック

石川 都様



- いつも主人と石川クリニック全般、とても皆様にお世話になっておりお礼申し上げます。
- クリニックでは事務長をやっておりますが、様々な問題が起きた時にロータリーの皆様には大変お世話になっており、感謝申し上げます。
- 私は哲学や思想、倫理、宗教などの学問をしてまいりました。夫は体専門で、私は心のほうを診ています。
- 職業奉仕ということで、職業倫理ということも宗教社会学で勉強しますが、マックス・ウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」が一番先に浮かびます。
- プロテスタントの倫理が、現代の資本主義の根本になりました。
- 自分を律しつつ、目の前の仕事を真面目に誠実にやっていくことが自分たちの富にも繋がり、社会の富

にも繋がり、それが近代の資本主義の礎になったという流れになっております。

- 神が私に与えた能力を世のため人のために使うというのが、そもそもの「職業」でした。
- 現代はそういう意識が薄れてまいりました。
- 渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という本があります。数年前にベストセラーになりました。
- 学生たちがもっと私に向いた仕事があるはずだと、転々と職を辞めていくのを憂いまして、この本を書いたそうです。
- また、「雑用」という仕事はないと、学生たちに諭しています。
- マザー・テレサは80年代に来日した際、「日本は豊だけれども貧しい」と警鐘を鳴らしました。
- 豊かな社会ゆえの心の貧しさにいち早く目を向けたのがマザー・テレサでした。
- 現代、日本のメンタルクリニックはどこも心の病の人で溢れています。
- 現代は「意味不在」の時代と言われています。どんなに過酷な状況でも、人はなんとか生きていけます。知識、技術、科学というものは「意味」には繋がりません。
- 人が根源的に持っている「生きるということは」「死ぬということは」「心とはなんなのか」という問いには知識は答えてくれません。
- 社会では正解のない問題だらけなので、自分なりの答えを探し続けていかなければいけません、と学生たちには説いています。
- 日本は独自の宗教的感性をもっている国です。いろいろなものに手を合わせ、年中行事も沢山あります。
- だが、宗教について、「生と死」について、学ぶ教育というのはされていません。
- 「死」については、日本は縁起でもない第一に考えます。でも、人には平等に死がやってきます。
- 「死」を通して、「生」の輝きを実感することが出来ます。
- 「死」までの自分の人生プランの立て方が大切になってくると思います。
- 日本人は自己肯定感が低いと言われています。
- 様々な問題が山積する人生の中で、いかに前向きに明るく生きられるかが、これからの日本人の課題だと思います。
- 最近では、笑いを治療に取り入れる等、体と心の医学が進んでまいりました。
- ロータリーの皆様は理想的です。社会奉仕は個人の生きがいにもなります。
- 皆様の益々のご活躍と日立南ロータリーの一層のご発展を祈念致しまして終わらせて頂きます。ありがとうございました。

小澤前会長の点鐘をもって閉会。